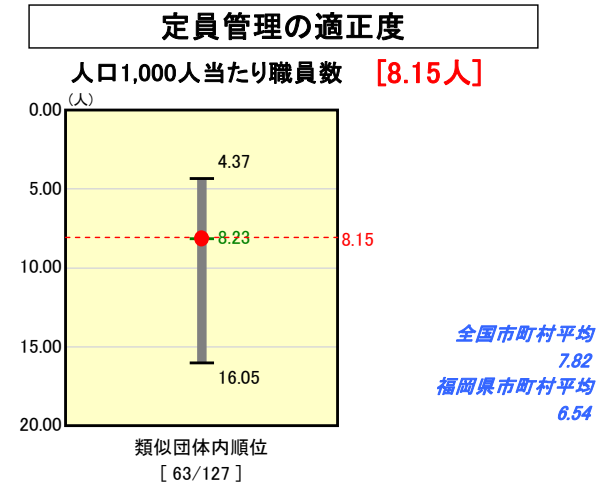
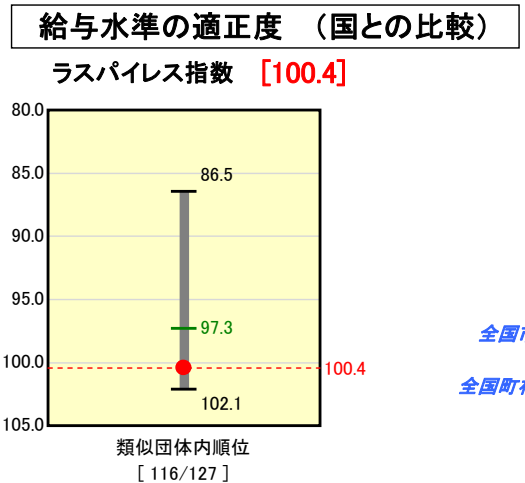
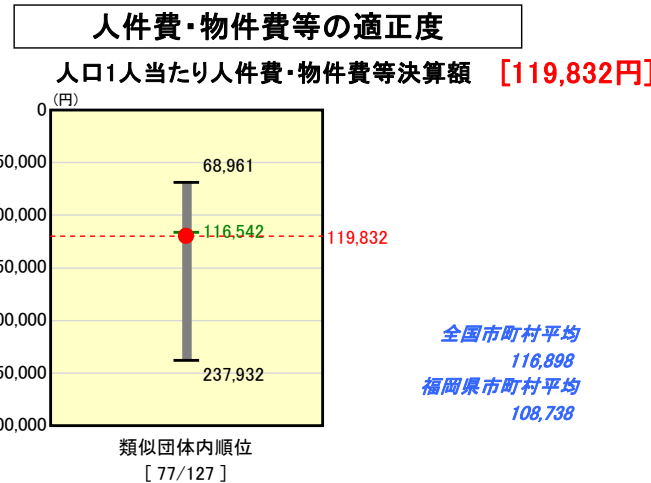
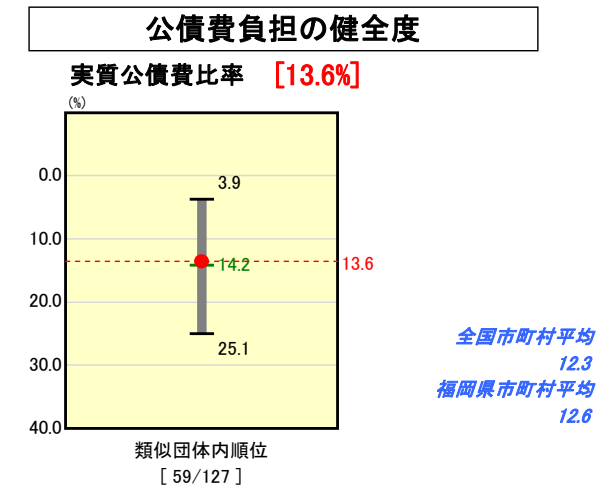
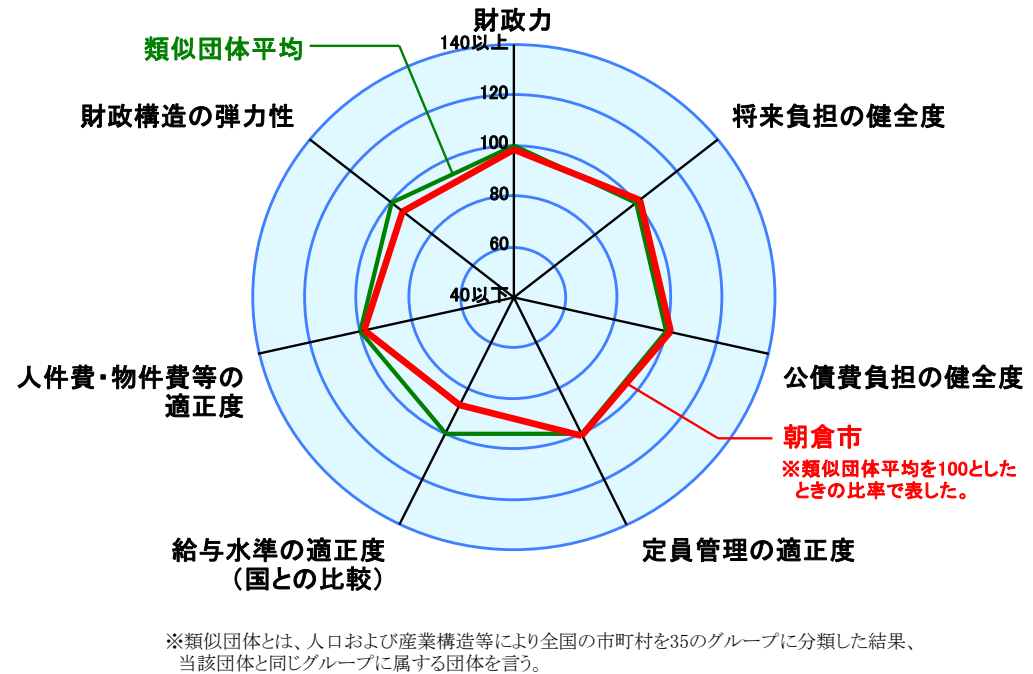
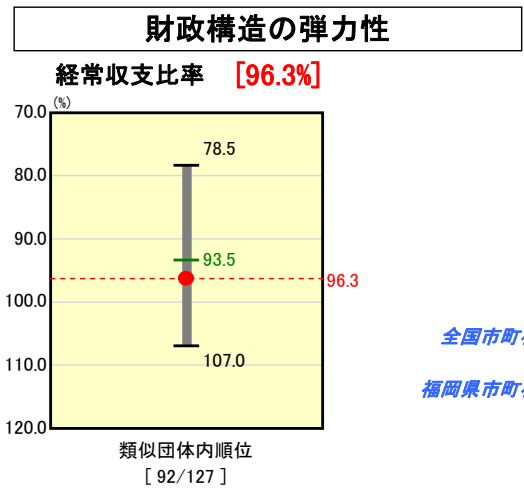
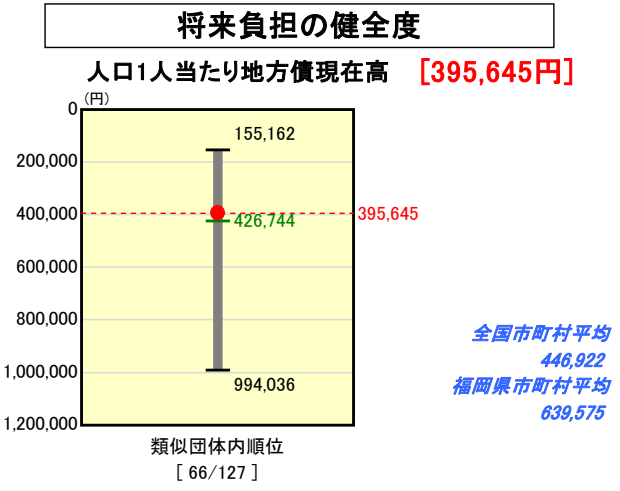
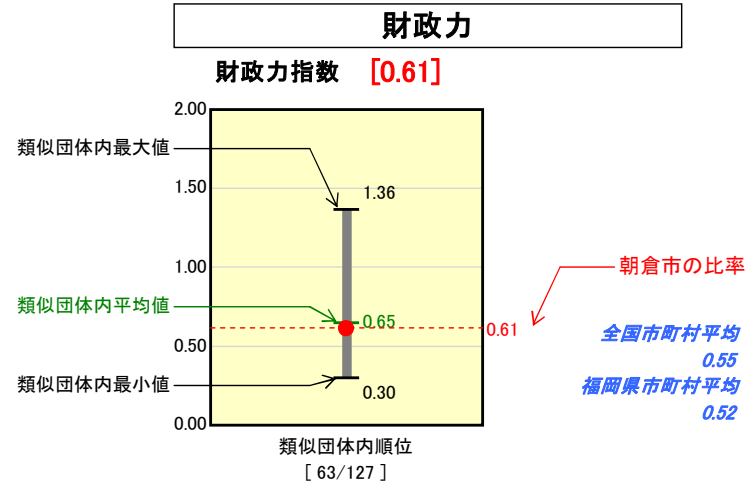


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 福岡県 朝倉市

人口	59,535 人	(H20.3.31現在)
面積	246.73 km <sup>2</sup>	
歳入総額	25,310,844 千円	
歳出総額	25,179,524 千円	
実質収支	85,741 千円	



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

財政力指数・・・昨年度に比べ0.03向上しているが、依然として類似団体平均を下回っている。企業誘致等を積極的に行い歳入増に努め、指数の向上を目指す。

経常収支比率・・・昨年度と変わらない数値となっている。しかし、今後は合併特例債、臨時財政対策債などの償還額増加による数値の上昇が見込まれる。率を下げるため、人件費等の削減を進めつつ、より一層のコスト削減に努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額・・・昨年度から3,089円の減少となっているが、依然として類似団体平均を上回っている。適正な人員管理を進め人件費の削減を中心に進める。また人員削減による臨時職員賃金、業務の委託料増加が見込まれるため、今後もより一層の経常経費の削減に努めていく。

ラスパイレース指数・・・平成20年4月時点の指数は、前年度に比べ僅かに下がる見込みであるが、類似団体平均・全国市平均を上回っている。今後、給与制度の見直しを進め、適正化を図っていく。

人口1人当たり地方債現在高・・・昨年度と比べ4,170円増加している。合併後は毎年の増加を続けているが、これは合併特例事業の実施によるものが大きく、また、人口も昨年度と比べ約700人減少しており、そのため人口当たりの数値が大きくなっている。今後も合併特例事業が多く予定されているため増加していく。緊急度・住民ニーズを的確に把握し、事業の選択を行っていく必要がある。

実質公債費比率・・・類似団体平均は下回っているものの、昨年度に比べ0.3増加している。今後も一般会計から下水道事業会計への繰出金の増加が見込まれる。緊急度・住民ニーズを的確に把握し、事業の選択を行っていく。

人口1,000人当たり職員数・・・昨年度に比べ0.08人増となっている。職員数は合併効果により減少しており、今後も民営化・民間委託を進め、定員管理による人員削減を行う。